



CLI クイック リファレンス ガイド

この章は、次の項で構成されています。

次の表を使用すると、目的の CLI コマンドを見つけ、その簡単な説明と C-Series および M-Series の各プラットフォームで実行可能かどうかを確認できます。

- [CLI コマンド \(確定が不要なもの\)](#) (1 ページ)
- [CLI コマンド \(確定が必要なもの\)](#) (8 ページ)

CLI コマンド (確定が不要なもの)

CLI コマンド	説明	実行可能なプラットフォーム
ampstatus	さまざまなファイルレピュテーションおよび分析コンポーネントのバージョンを表示します。	C-Series
antispamstatus	Anti-Spam ステータスを表示します。	C-Series
antispamupdate	スパム定義を手動で更新します。	C-Series
antivirusstatus	Anti-Virus ステータスを表示します。	C-Series
antivirusupdate	ウイルス定義を手動で更新します。	C-Series
archivemessage	キュー内の古いメッセージをアーカイブします。	C-Series
bouncerecipients	キューからメッセージをバウンスします。	C-Series、M-Series
talosupdate	すべての Talos エンジンの更新を要求します。	C-Series
talosstatus	Talos Intelligence Services モジュールの現在のバージョンを表示します。	C-Series

CLI コマンド	説明	実行可能なプラットフォーム
clearchanges または clear	変更をクリアします。	C-Series、M-Series
cloudserviceconfig	アプライアンスを Cisco SecureX または Cisco Threat Response に接続するために Cisco SecureX サーバーまたは Cisco Threat Response サーバーを選択します。	C-Series、M-Series
commit	変更を確定します。	C-Series、M-Series
commitdetail	最後の確定に関する詳細情報を表示します。	C-Series
contentscannerstatus	コンテンツスキャナバージョン情報を表示します。	C-Series
contentscannerupdate	コンテンツスキャナエンジンの手動更新を要求します。	C-Series
date	現在の日時を表示します	C-Series、M-Series
daneverify	指定されたドメインの DANE がサポートされているかどうかを確認します。	C-Series
deleterecipients	キューからメッセージを削除します。	C-Series、M-Series
delivernow	メッセージのスケジュールを即時配信用に再設定します。	C-Series、M-Series
diagnostic	RAID ディスク、ネットワーク キャッシュ、および SMTP 接続をチェックします。ネットワーク キャッシュをクリアします。	C-Series、M-Series
dig	DNS サーバー上でレコードをルックアップします	C-Series
displayalerts	アプライアンスから送信された最後の n 個のアラートを表示します	C-Series、M-Series
dlpstatus	DLP エンジンのバージョン情報	C-Series
dlpupdate	DLP エンジンを更新します。	C-Series
dnsflush	DNS キャッシュからすべてのエントリをクリアします。	C-Series、M-Series

CLI コマンド	説明	実行可能なプラットフォーム
dnslittest	DNS ベースのリスト サービスの DNS ルックアップをテストします。	C-Series
dnsstatus	DNS 統計情報を表示します。	C-Series、M-Series
domainreconfig	ドメイン例外リストの作成	C-Series
ecstatus	証明書を取得するのに使用する登録クライアントのバージョンを確認します	C-Series
ecupdate	証明書を取得するのに使用する登録クライアントを更新します	C-Series
encryptionstatus	PXE エンジンとドメイン マッピング ファイルのバージョンを表示します。	C-Series
encryptionupdate	PXE エンジンの更新を要求します。	C-Series
enginestatus	アプライアンス上でイネーブルになっているすべてのエンジンのステータスと CPU 使用率を表示します。	C-Series
featurekey	システム機能キーを管理します。	C-Series、M-Series
findevent	メールログファイルのイベントを検索します	C-Series、M-Series
geolocationupdate	地理位置情報リストを手動で更新します。	C-Series
geolocationstatus	地理位置情報リストの現在のバージョンが表示されます。	C-Series
howtoupdate	How-To コンポーネントを手動で更新します	C-Series
howtostatus	How-To コンポーネントの現在のバージョンが表示されます	C-Series
graymailstatus	既存のグレイメール ルールの詳細を表示します	C-Series
graymailupdate	手動でグレイメール ルールを更新します	C-Series
grep	ログ ファイル内のテキストを検索します。	C-Series、M-Series

CLI コマンド	説明	実行可能なプラットフォーム
<code>healthcheck</code>	アプライアンスの状態を確認します。	C-Series
<code>help</code> または <code>h</code> または <code>?</code>	ヘルプ	C-Series、M-Series
<code>hostrate</code>	特定のホストのアクティビティをモニターします。	C-Series、M-Series
<code>hoststatus</code>	特定のホスト名のステータスを取得します。	C-Series、M-Series
<code>last</code>	システムに最近ログインしたユーザーを表示します。	C-Series、M-Series
<code>ldapflush</code>	キャッシュされている LDAP の結果をフラッシュします。	C-Series
<code>ldaptest</code>	1 つの LDAP クエリーテストを実行します。	C-Series
<code>loadlicense</code>	仮想アプライアンス ライセンスをロードします	すべての仮想アプライアンス
<code>mailconfig</code>	現在の設定を電子メールアドレスに送信します。	C-Series、M-Series
<code>marstatus</code>	MAR コンポーネントの現在のバージョンを表示します。	C-Series
<code>marupdate</code>	MAR コンポーネントを手動で更新します。	C-Series
<code>nslookup</code>	ネームサーバーに問い合わせます。	C-Series、M-Series
<code>netstat</code>	ネットワーク接続、ルーティング テーブル、およびネットワーク インターフェイス統計情報を表示します。	C-Series、M-Series
<code>outbreakflush</code>	キャッシュされている発生ルールをクリアします。	C-Series
<code>outbreakstatus</code>	現在のアウトブレイク ルールを表示します。	C-Series
<code>outbreakupdate</code>	ウイルス感染フィルタ ルールを更新します。	C-Series

CLI コマンド	説明	実行可能なプラットフォーム
<code>oldmessage</code>	キュー内の古いメッセージのリストを表示します。	C-Series
<code>packetcapture</code>	ネットワーク経由で送受信されたパケットを傍受して表示します。	C-Series、M-Series
<code>passphrase</code> または <code>passwd</code>	パスワードを変更する	C-Series、M-Series
<code>ping</code>	ネットワーク ホストに対して ping を実行します。	C-Series、M-Series
<code>ping6</code>	IPV6を使用するネットワーク ホストに ping を実行します	C-Series、M-Series
<code>quit</code> または <code>q</code> または <code>exit</code>	終了します。	C-Series、M-Series
<code>rate</code>	メッセージのスループットをモニターします。	C-Series、M-Series
<code>reboot</code>	システムを再起動する	C-Series、M-Series
<code>redirectrecipients</code>	すべてのメッセージを別のリレー ホストにリダイレクトします。	C-Series
<code>removemessage</code>	古い未配信のメッセージをキューから削除します。	C-Series
<code>repengstatus</code>	レピュテーション エンジンのバージョン情報を要求します	C-Series、M-Series
<code>resetconfig</code>	工場出荷時のデフォルト設定に戻します。	C-Series、M-Series
<code>resetcounters</code>	システム内のすべてのカウンタをリセットします。	C-Series、M-Series
<code>resume</code>	受信と配信を再開します。	C-Series、M-Series
<code>resumedel</code>	配信を再開します。	C-Series、M-Series
<code>resumelistener</code>	受信を再開します。	C-Series、M-Series
<code>revert</code>	以前のリリースに戻します	C-Series、M-Series
<code>rollovernow</code>	ログ ファイルをロール オーバーします。	C-Series、M-Series

CLI コマンド	説明	実行可能なプラットフォーム
saveconfig	設定をディスクに保存します。	C-Series、M-Series
sdrupdate	SDR コンポーネントを手動で更新します	C-Series
sdrdiagnostics	Cisco E メールセキュリティゲートウェイが SDR サービスに接続されているかどうかを確認します	C-Series
settime	システム クロックを手動で設定します。	C-Series、M-Series
showmessage	キュー内の古い未配信のメッセージを表示します。	C-Series
showconfig	すべての設定値を表示します。	C-Series、M-Series
showlicense	仮想アプライアンスのライセンス情報を表示します	すべての仮想アプライアンス
show_license	スマート ライセンスのステータスとステータスの概要を表示します。	C-Series、M-Series
showrecipients	キュー内のメッセージを受信者ホスト別または Envelope From アドレス別に表示するか、すべてのメッセージを表示します。	C-Series
shutdown	システムをシャットダウンして電源を切ります。	C-Series、M-Series
slblconfig	セーフリスト/ブロックリストの設定値を設定します	C-Series
status	System status	C-Series、M-Series
supportrequest	Cisco TAC にメッセージを送信します	C-Series、M-Series
supportrequeststatus	サポート要求のキーワードのバージョン情報を表示します	C-Series、M-Series
supportrequestupdate	サポート要求のキーワードの手動更新を要求します	C-Series、M-Series
suspend	受信と配信を中断します。	C-Series、M-Series
suspenddel	配信を中断します。	C-Series、M-Series

CLI コマンド	説明	実行可能なプラットフォーム
suspendlistener	受信を中断します。	C-Series、M-Series
systemsetup	最初のシステム設定。	C-Series
tail	ログ ファイルの最新部分を継続的に表示します	C-Series、M-Series
techsupport	Cisco TAC がシステムにアクセスできるようにします	C-Series、M-Series
telnet	リモート ホストに接続します。	C-Series、M-Series
threatfeedstatus	ETF エンジンの現在のバージョンを表示します	C-Series
threatfeedupdate	ETF エンジンを手動で更新します	C-Series
tlsverify	リモートホストに対する発信 TLS 接続を確立し、TLS 接続の問題をデバッグします。	C-Series
tophosts	キューのサイズの順に上位のホストを表示します。	C-Series、M-Series
topin	着信接続の数の順に上位のホストを表示します。	C-Series、M-Series
trace	システムを通過するメッセージのフローを追跡します。	C-Series、M-Series
traceroute	リモートホストへのネットワーク ルートを表示します。	C-Series、M-Series
traceroute6	IPV6 を使用するリモート ホストへのネットワーク ルートを表示します。	C-Series、M-Series
trailblazerconfig	アプライアンスの新しい Web インターフェイスで HTTP と HTTPS のポートを介して受信接続と送信接続をルーティングします。	C-Series、M-Series
tzupdate	タイムゾーン ルールを更新します。	C-Series、M-Series
updatenow	すべてのコンポーネントを更新します。	C-Series、M-Series
upgrade	アップグレードをインストールします。	C-Series、M-Series

CLI コマンド (確定が必要なもの)

CLI コマンド	説明	実行可能なプラットフォーム
<code>version</code>	システムのバージョン情報を表示します。	C-Series、M-Series
<code>wipedata</code>	ディスクのコア ファイルを消去し、最後のコアダンプ操作のステータスを確認します	C-Series、M-Series
<code>websecuritydiagnostics</code>	URL フィルタリングの診断統計情報を表示します	C-Series、M-Series
<code>who</code>	ログイン中のユーザーのリストを表示します。	C-Series、M-Series
<code>whoami</code>	現在のユーザー ID を表示します。	C-Series、M-Series
<code>workqueue</code>	作業キューの一時停止ステータスを表示および変更します。	C-Series

CLI コマンド (確定が必要なもの)

CLI コマンド	説明	実行可能なプラットフォーム
<code>addressconfig</code>	システムで生成するメールの From: アドレスを設定します。	C-Series、M-Series
<code>addresslistconfig</code>	アドレス リストを設定します。	C-Series
<code>adminaccessconfig</code>	ネットワーク アクセス リストとバナー ログインを設定します。	C-Series
<code>aggregatorconfig</code>	シスコのアグリゲータ サーバーのアドレスを設定します	C-Series
<code>alertconfig</code>	電子メール アラートを設定します。	C-Series、M-Series
<code>aliasconfig</code>	電子メール エイリアスを設定します。	C-Series
<code>altsrhost</code>	Virtual Gateway™ のマッピングを設定します	C-Series
<code>amconfig</code>	高度なマルウェア対策を設定します (ファイル レピュテーションおよび分析)	C-Series、M-Series
<code>antispamconfig</code>	Anti-Spam ポリシーを設定します。	C-Series

CLI コマンド	説明	実行可能なプラットフォーム
antivirusconfig	Anti-Virus ポリシーを設定します。	C-Series
bounceconfig	バウンスの動作を設定します。	C-Series、M-Series
bvconfig	発信メールのキー設定値を設定し、無効なバウンスの処理方法を設定します。	C-Series
callaheadconfig	SMTP コールアヘッドプロファイルを追加、編集、または削除します	C-Series、M-Series
certconfig	セキュリティの証明書とキーを設定します。	C-Series、M-Series
clusterconfig	クラスタ関連の設定を実行します。	C-Series
csnconfig	電子メールゲートウェイで CSN を有効化または無効化します。	C-Series
deliveryconfig	メール配信を設定します。	C-Series
destconfig	[送信先コントロール (Destination Controls)] テーブルのオプションを設定します。	C-Series
dictionaryconfig	コンテンツ ディクショナリを設定します。	C-Series、M-Series
diskquotaconfig	ディスクの容量を設定します	C-Series、M-Series
dmarconfig	DMARC の設定値を設定します	C-Series
dnsconfig	DNS のセットアップを設定します。	C-Series
dnshostprefs	IPv4/IPv6 DNS を設定します	C-Series、M-Series
dnslistconfig	DNS リスト サービスのサポートを設定します。	C-Series
domainkeysconfig	DomainKeys のサポートを設定します。	C-Series
ecconfig	証明書を取得するのに使用する登録クライアントを設定します	C-Series、M-Series
encryptionconfig	電子メール暗号化を設定します。	C-Series
etherconfig	イーサネットの設定値を設定します。	C-Series、M-Series
exceptionconfig	ドメイン例外テーブルを設定します。	C-Series

CLI コマンド	説明	実行可能なプラットフォーム
featurekeyconfig	機能キーを自動的にチェックし、更新します。	C-Series、M-Series
filters	メッセージ処理オプションを設定します。	C-Series
filehashlistconfig	<ul style="list-style-type: none"> サポートされているファイルハッシュタイプ (MD5 または SHA-256) のいずれかのファイルハッシュリストを作成します。 特定のファイルハッシュに一致する添付ファイルを含んだメッセージに対してアクションを実行するようにコンテンツフィルタを設定するためのファイルハッシュリストを作成します。 外部脅威フィード (ETF) 機能の例外リストとして使用するファイルハッシュリストを作成します。 	C-Series
generalconfig	ブラウザ設定などの一般的な設定を行います	C-Series、M-Series
healthconfig	アプライアンスのさまざまな正常性パラメータのしきい値を設定します	C-Series、M-Series
imageanalysisconfig	IronPort イメージ分析の設定値を設定します	C-Series、M-Series
imsandgraymailconfig	Cisco Intelligent Multi-Scan (IMS)、グレイメール検出、および安全な登録解除の設定。	C-Series、M-Series
incomingrelayconfig	着信リレーを設定します。	C-Series
interfaceconfig	イーサネット IP アドレスを設定します。	C-Series、M-Series
ldapconfig	LDAP サーバーを設定します。	C-Series
license_smart	スマート ソフトウェア ライセンス機能の設定	C-Series、M-Series
listenerconfig	メール リスナーを設定します。	C-Series

CLI コマンド	説明	実行可能なプラットフォーム
loadconfig	設定ファイルをロードします。	C-Series、M-Series
localeconfig	多言語対応の設定値を設定します。	C-Series
logconfig	ログファイルへのアクセスを設定します。	C-Series、M-Series
ntpconfig	NTP タイム サーバーを設定します。	C-Series、M-Series
outbreakconfig	感染フィルタを設定します。	C-Series
policyconfig	受信者単位または送信者ベースのポリシーを設定します。	C-Series
portalregistrationconfig	アプライアンスに Cisco Talos 電子メールステータスポータルの登録 ID を設定します。	C-Series
quarantineconfig	システムの隔離を設定します。	C-Series
reportingconfig	レポートニングの設定値を設定します。	C-Series、M-Series
rollbackconfig	以前に確定された設定の 1 つにロールバックします	C-Series、M-Series
routeconfig	IP ルーティング テーブルを設定します。	C-Series、M-Series
safeprint	電子メールゲートウェイで Safe Print の設定を構成します。	C-Series、M-Series
samlconfig	サービスプロバイダおよびアイデンティティプロバイダの設定を含む SAML プロファイルを設定します	C-Series、M-Series
scanconfig	添付ファイルのスキャン ポリシーを設定します。	C-Series
sdrconfig	Cisco E メールセキュリティ ゲートウェイで SDR フィルタリングを有効化して設定します。	C-Series
sdradvancedconfig	Cisco E メールセキュリティ ゲートウェイを SDR サービスに接続する場合に詳細パラメータを設定します。	C-Series
servicelogsconfig	アプライアンスのサービスログを有効化または無効化します。	C-Series

CLI コマンド	説明	実行可能なプラットフォーム
setgateway	デフォルト ゲートウェイ (ルータ) を設定します。	C-Series、M-Series
sethostname	マシンの名前を設定します。	C-Series、M-Series
settz	ローカル タイム ゾーンを設定します。	C-Series、M-Series
sievechar	RFC 3598 に規定されている Sieve 電子メールフィルタリングの文字を設定します。	C-Series
smimeconfig	S/MIME の機能を設定します	C-Series、M-Series
smtpauthconfig	SMTP Auto プロファイルを設定します。	C-Series
smtproutes	永続的なドメイン転送を設定します。	C-Series、M-Series
snmpconfig	SNMP の設定	C-Series、M-Series
sshconfig	SSH キーを設定します。	C-Series、M-Series
sslconfig	SSL の設定値を設定します。	C-Series、M-Series
stripheaders	削除するメッセージ ヘッダーを設定します。	C-Series
tepservices	プロセスによって開かれているファイルに関する情報を表示します	C-Series、M-Series
textconfig	テキスト リソースを設定します。	C-Series
threatfeedconfig	Cisco E メールセキュリティ ゲートウェイで ETF エンジン を有効化して設定します	C-Series
threatresponseconfig	アプライアンス上で Cisco SecureX または Cisco Threat Response を有効または無効にします。	C-Series
trackingconfig	トラッキング システムを設定します	C-Series、M-Series
unsubscribe	グローバル配信停止リストを更新します。	C-Series、M-Series
updateconfig	システム更新パラメータを設定します。	C-Series
urllistconfig	安全な URL の許可リストを設定します。	C-Series、M-Series

CLI コマンド	説明	実行可能なプラットフォーム
userconfig	ユーザー アカウントと外部の認証ソースへの接続を管理します。	C-Series、M-Series
websecurityadvancedconfig	URL フィルタリングの詳細設定を設定します	C-Series、M-Series
websecurityconfig	URL フィルタリングのグローバル設定を設定します	C-Series、M-Series

